



## 編集雑記

## 既刊案内 (特集・主要記事)

### [ 12月号 ]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.13]一橋大学大学院社会学研究科教授 大瀧友理奈氏を訪ねて～JT、東大教育センターも経験、学術的領域で環境科学に取り組む～都市工学に軸足を置きつつ「水リテラシー」を提唱…水道ネットワーク通信 有村源介 ◎冬季の省エネルギーの取組について…省エネルギー・省資源対策推進会議省庁連絡会議決定 ◎全国の空き家・空き地情報がワンストップで検索可能となります！～「全国版空き家・空き地バンク」の試行運用開始について…国土交通省 ◎まちづくりの担い手を育てるために～「まちづくり活動の担い手のあり方検討会」のとりまとめ…国土交通省 ◎大規模イベントにおけるごみ分別ラベル作成ガイダンスの策定・公表…環境省 ◎「日本の気候変動対策支援イニシアティブ2017」の発表…環境省 ◎「省エネ住宅推進大使」任命について…環境省 ◎建設現場における3次元データ活用の普及・促進をめざして～3次元データ利活用方針」の策定～ ◎「新産業構造ビジョン」～「一人ひとりの、世界の課題を解決する日本の未来」～…経済産業省 ◎糸魚川市駅北復興まちづくり計画 概要版～カタイ絆でよみがえる笑顔の街道 糸魚川～…新潟県 糸魚川市 ◎明日への道標ランプを掲げた天使～看護を職業にしたナイチンゲール～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎次世代軽量配管をアピール 鋼管技術フォーラムを開催…(一社)鋼管技術研究会 鋼管技術フォーラム実行委員会 ◎東京プラリルポ 林美美子、佐伯祐三、中村彝記念館～中井、下落合界隈を歩く…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道 ◎トビックス トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎LaCoon 新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎新・撮った写真が5万枚!?!◎…IDE研究所いでこうじ ◎建築着工統計(2017年9月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス ◎エッセイ 西村修一、新田純子

### [ 1月号 ]

◎[シリーズ 次代を担う衛生・環境工学者 No.14]八戸工業大学准教授(理工学部土木建築工学科大学院工学研究科 社会基盤工学専攻)鈴木拓也氏を訪ねて 全く新しいナノろ過膜開発に取り組む～社会に貢献する土木工学に立脚し～水道ネットワーク通信 有村源介 ◎九州北部緊急治水対策プロジェクトにより緊急的な治水対策を進めます…国土交通省 ◎事業者のための「生物多様性民間参画ガイドライン(第2版)」の公表…環境省 ◎環境インフラ海外展開基本戦略の策定について…環境省 ◎水素ステーションの本格整備を目的とした新社会を2018年春に設立～11社が新会社設立に合意し、契約を締結…経済産業省 ◎ストレスチェック制度の実施状況を施行後はじめて公表します～ストレスチェックを活用して働きやすい職場づくりを～厚生労働省 ◎「環境省アセスメントのためのより良いコミュニケーション優良事例集」の公表…環境省 ◎「まんが『なすびのギモン』食品編」英語版ブックレット及び「動画『なすびのギモン』」英語版の作成について…環境省◎全国の中小河川の緊急点検の結果を踏まえ、「中小河川緊急治水対策プロジェクト」をとりまとめました…国土交通省 ◎環境産業の市場規模・雇用規模等に関する報告書の公表について…環境省 ◎国土交通省ハザードマップポータルサイト…国土交通省 ◎明日への道標 永續する企業哲学～インテグリティ・マネジメント～(株)日本設備工業新聞社 代表取締役社長 高倉克也 ◎注目の新製品・新技術 鋼管用ハウジング式新継手SATジョイント ステンレス配管用新型継手リーズフランジ…シワ工業(株)営業部長 田中朋樹◎東京プラリルポ レインボーブリッジを歩いて渡る…(一社)スマート水道推進協会会長・(株)日本設備工業新聞社顧問 坂本弘道◎トビックス トイレブース工事で特別研修…(株)岡本 ◎「LaCoon」新提案 TOTO便器とセット販売…コマニー(株) ◎新・撮った写真が5万枚!?!◎…IDE研究所いでこうじ ◎建築着工統計(2017年10月)…国土交通省 ◎新製品紹介 ◎ニュースファックス◎エッセイ 西村修一、新田純子

夜更けに事務所を出ると雪が降り積もっていた。南岸低気圧の影響で関東地方が4年ぶりの大雪に見舞われた日だ。わたしは傘をさして車も人影も見えない坂道を転ばないように渋谷駅へ向かった。絶えまなく降りそそぐ牡丹雪はときおりビル風に吹かれて縦横に舞い踊っているように見えた。

雪博士と呼ばれていた物理学者の中谷宇吉郎は1938年に上梓した随筆集『雪』の末尾で印象的な一節を遺した。「雪は天から送られた手紙である」と。天からの手紙には読み解くべき自然の暗号が秘められている。水蒸気が氷になる結晶の形から上空の気象状態を知ることができるのだ。中谷はあえて雪を詩的に表現することで自然の美と畏怖する想いを伝えたかったのだとわたしは思う。

北陸の雪国である石川県加賀市で生まれた中谷は東京帝国大学理学部で夏目漱石の門下生である寺田寅彦に師事し、イギリス留学後に北海道大学へ赴任した。低温科学の先駆者として1936年に世界初の人工雪の制作に成功する。戦時中は軍部の要請で飛行機の着氷防除などを研究し、のちに軍事技術への協力を批判された。戦後は『霜の華』などの映画を完成させて科学教育に情熱を注ぐ。

弟子たちとの会話で中谷はよく「自然の美しさに感動することが研究の原動力」と語っていた。自然を征服の対象と見做す近代合理主義の横行に警鐘を鳴らし、花模様の雪の結晶に魅せられた。雲のなかで生成する六角柱の氷の花びらは地上に降るまでの温度と湿度で無限に変化する。おなじ形のものはない。(高倉)

### 給排水・環境設備の総合誌

月刊「コア」第339号

平成30年2月1日発行 定価1,000円(本体926円)

発行編集人 高倉克也

印刷所 (株)日本設備工業新聞社出版事業部

発行所 〒150-0031東京都渋谷区桜丘町10-13

(野元第1ビル)(株)日本設備工業新聞社

TEL (03) 3496-4774(代)

FAX (03) 3464-1884